

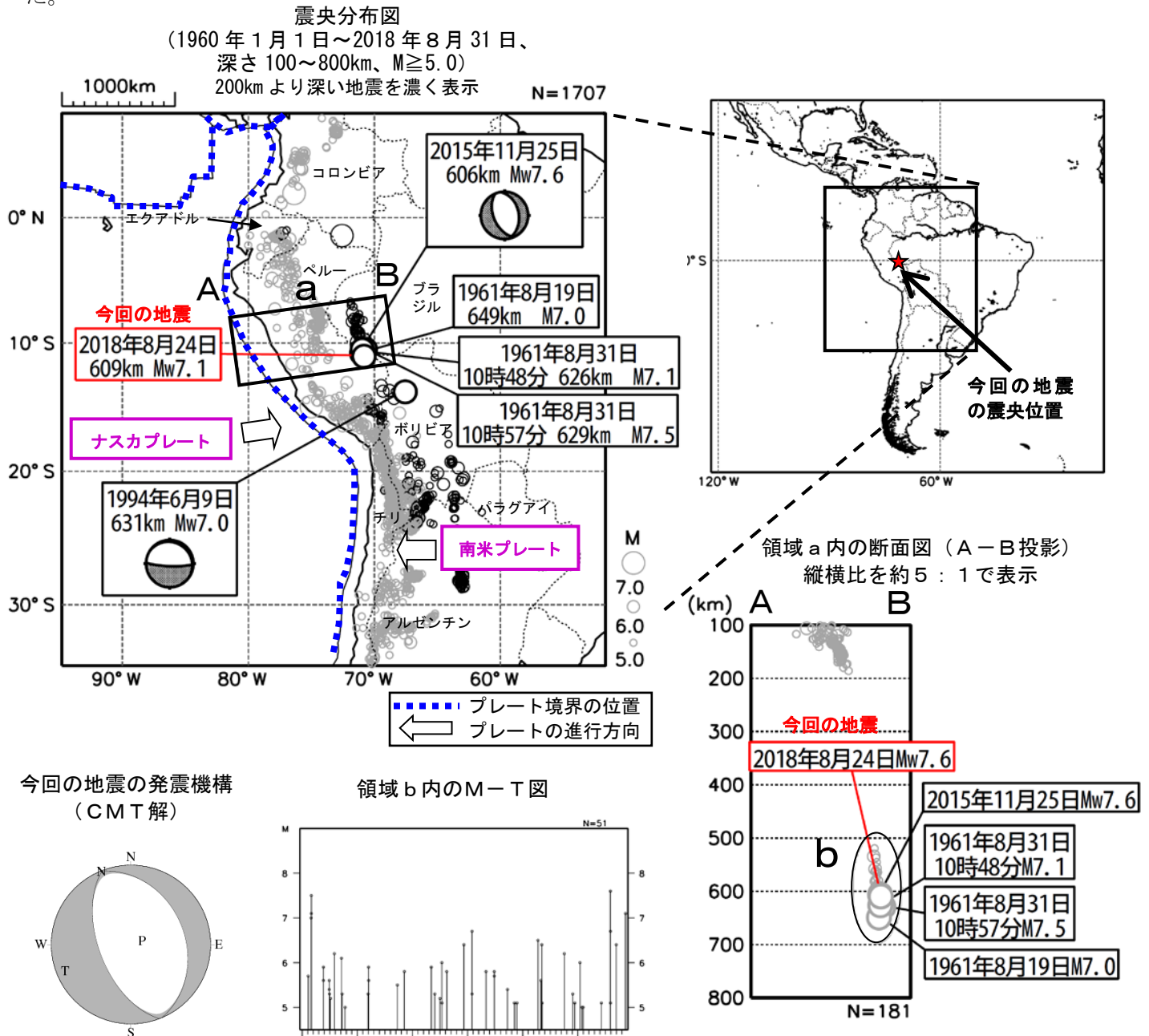
8月24日 ペルー／ブラジル国境の地震

2018年8月24日18時04分(日本時間、以下同じ)にペルー／ブラジル国境の深さ609kmでMw7.1の地震が発生した。この地震の発震機構(気象庁によるCMT解)は、ナスカプレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した地震である。

気象庁は、この地震に対して、同日18時31分に遠地地震に関する情報(津波の心配なし)を発表した。

1960年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6.0以上の地震が度々発生している。今回の地震の震源付近では、1961年8月19日に深さ649kmでM7.0、同年8月31日にM7.1及びM7.5の地震が、ほぼ同じ場所で続けて発生している。また、2015年11月25日にもほぼ同じ場所でMw7.6の地震が発生した。

近隣のボリビアでは、1994年6月9日に深さ631kmでM7.0の地震が発生し、死者10人の被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1960年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年8月31日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。1994年6月9日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.